

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日  
九州運輸局

評価対象事業名： 地域公共交通調査事業(利便増進計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	<p>路線バス・乗合タクシー等の現状を再整理すると同時に、効果的な再編に向けての課題把握、利用促進策の検討を行い、更なる利便性向上、利用者維持・増加を目指した利便増進実施計画の策定を行うため、下記内容を実施した。</p> <p>■唐津地域の公共交通の利用状況、収支状況等の整理 運行事業者へヒアリングを行い、既存データを収集、分析を実施</p> <p>■実証運行の結果調査 デマンドタクシーの実証運行を行った、大良地区と湊地区(再編を実施していない2路線のエリア)において、事業後のアンケート調査を実施</p> <p>■路線バスの乗降調査 唐津地域公共交通計画に基づき、デマンドの導入を検討するエリア7路線と、財政負担額が大きい4路線を対象に、利用者の属性や乗降場所、利用目的等について調査を実施</p>	A	計画どおり実施された。	<p>■補助対象事業名 唐津地域公共交通利便増進計画策定事業</p> <p>■事業内容 公共交通利用実態把握、利便増進計画(案)のとりまとめ、協議会開催</p> <p>■計画策定の方針 ・唐津地域公共交通計画の基本方針である「地域力を最大限活用し、「唐津地域」の生活と活力を支える公共交通」のもと、地域の実情についての具体的な調査内容をもとに、多様な交通モードの連携・役割分担による公共交通の再構築を行い、持続可能な公共交通の実現を目指す。 ・唐津地域公共交通計画ではエリアごとに今後の方針が記されており、①地域間の幹線の維持、②枝線のデマンド化を軸として検討していく。</p>	今回実施された調査事業は概ね適切に実施されているものと考えられます。 今後、計画案をもとに、更に関係者間と協議を進め、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日  
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(利便増進計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果		
竹田市地域公共交通確保維持協議会	<p>竹田市地域公共交通計画(p64)に記載した利便増進実施事業に位置付けた事項について検討を実施した。</p> <p>(市内公共交通網の効率的見直し案の検討) 各路線ごとに方針を整理し、ゾーン制運賃の適用について検討を進めた。</p> <p>(実証調査) 市内2ヶ所(久住・荻)を選定し、地域内交通の整備の実証としてデマンド運行を行った。</p> <p>(地域公共交通の利便増進に関する計画(案)のとりまとめ) 調査や実証運行から、利便増進計画のとりまとめを実施した。</p> <p>(協議会開催) 協議会を開催し、関係者の合意形成を諮った</p>	A	<p>予定していた調査事業については適切に実施できた。</p>	<p>具体的な合意形成は後日となるが、事務局で考えている再編の方針、取り組み方法は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーン制運賃制度の適用 市内の交通について、移動するエリアごとに、加算した料金体系に変更する。</li> <li>・都内交通 都市計画エリア内の移動利便性の強化</li> <li>・地域拠点までの交通</li> <li>・地域拠点と都市拠点を結ぶ交通の強化</li> <li>・不要路線の見直し</li> </ul>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 計画策定後においては、同計画の再編の方針、取り組み方法に基づき各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日  
九州運輸局

評価対象事業名： 地域公共交通調査事業(利便増進計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考																		
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果																			
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	<p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通利便増進の方向性の検討 コミバスと路線バスの利用状況等を調査。</li> <li>コミバスのルート・ダイヤの検討 コミバスの変更の方向性について、コミタクへの転換について検証。</li> <li>路線バスとコミバスの整理の検討 重複状況や利用状況等を踏まえた再編の方向性を整理。</li> <li>交通事業者との協議 コミバスと路線バスの再編について交通事業者と協議。</li> </ul> <p><b>【結果概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現況調査により、路線バス、コミュニティバス、スクールバスなど、多様な交通資源が重複して運行されていることを把握した。</li> <li>現況調査により、路線バス、コミュニティバスともに、路線単位、便単位、バス停ごとで利用が少ない(ほとんどない)路線・便・バス停があることを把握した。</li> <li>路線バスとコミバスの整理の方向について、交通事業者とも協議を行い、コミバスに統合していく方向で合意した。</li> <li>利用促進事業において、地域拠点までの移動手段のあり方について検証した。</li> <li>今後、活性化協議会での議論を元に、利便増進実施計画の案をとりまとめる。</li> </ul>	A	計画通り事業は適切に実施された。	<p>地域公共交通計画の基本方針として以下の3つを設定しているが、そのうち、利便増進事業として実施する事業については、以下の表での整理に基づき、検討・推進する。</p> <p>1) 幹線の再整理に基づく公共交通サービスの最適化 2) 枝線・枝葉部分での需給に応じた多様な移動手段の確保 3) 持続可能な公共交通のための利用促進策の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施事業</th> <th>現状と課題</th> <th>利便増進事業の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内公共交通網の再整備</td> <td>・長谷川線の土日祝利用は少ない ・犬飼、平鹿はスクールバス専任運行</td> <td>・長谷川線土日祝の乗合タクシー化 ・スクールバスの運業化(犬飼・平鹿)</td> </tr> <tr> <td>多様な団体と連携した利用促進</td> <td>・足の長い路線で利用の少ない末端部の移動手段のあり方</td> <td>・末端部の集客から地域拠点までの移動手段の検討(デマンド、タクシー、経費削減、タクシー併走等)</td> </tr> <tr> <td>運賃施策の検討・実施による利用促進</td> <td>・路線別運賃の路線バスと定期のコミバスの混在</td> <td>・運賃制の統一化(定期制) ・日乗乗車券や乗り放題定期券(スマホ)の検討・拡充</td> </tr> <tr> <td>情報発信による利用促進</td> <td>・HPでの情報発信等デジタルでの情報発信が少ない</td> <td>・協議会HP開設に向けた準備</td> </tr> <tr> <td>デジタル技術による利用促進</td> <td>・紙の定期券の問題(購入場所の限定、紛失の恐れなど)</td> <td>・スマホ定期券等の導入の検討</td> </tr> </tbody> </table>	実施事業	現状と課題	利便増進事業の方向性	市内公共交通網の再整備	・長谷川線の土日祝利用は少ない ・犬飼、平鹿はスクールバス専任運行	・長谷川線土日祝の乗合タクシー化 ・スクールバスの運業化(犬飼・平鹿)	多様な団体と連携した利用促進	・足の長い路線で利用の少ない末端部の移動手段のあり方	・末端部の集客から地域拠点までの移動手段の検討(デマンド、タクシー、経費削減、タクシー併走等)	運賃施策の検討・実施による利用促進	・路線別運賃の路線バスと定期のコミバスの混在	・運賃制の統一化(定期制) ・日乗乗車券や乗り放題定期券(スマホ)の検討・拡充	情報発信による利用促進	・HPでの情報発信等デジタルでの情報発信が少ない	・協議会HP開設に向けた準備	デジタル技術による利用促進	・紙の定期券の問題(購入場所の限定、紛失の恐れなど)	・スマホ定期券等の導入の検討	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。今後は、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>
実施事業	現状と課題	利便増進事業の方向性																					
市内公共交通網の再整備	・長谷川線の土日祝利用は少ない ・犬飼、平鹿はスクールバス専任運行	・長谷川線土日祝の乗合タクシー化 ・スクールバスの運業化(犬飼・平鹿)																					
多様な団体と連携した利用促進	・足の長い路線で利用の少ない末端部の移動手段のあり方	・末端部の集客から地域拠点までの移動手段の検討(デマンド、タクシー、経費削減、タクシー併走等)																					
運賃施策の検討・実施による利用促進	・路線別運賃の路線バスと定期のコミバスの混在	・運賃制の統一化(定期制) ・日乗乗車券や乗り放題定期券(スマホ)の検討・拡充																					
情報発信による利用促進	・HPでの情報発信等デジタルでの情報発信が少ない	・協議会HP開設に向けた準備																					
デジタル技術による利用促進	・紙の定期券の問題(購入場所の限定、紛失の恐れなど)	・スマホ定期券等の導入の検討																					